

【様式 2】

平成 13 年度授業実践結果

学校名：宮川小学校

授業者等	授業日	平成 14 年 1 月 23 日	学 年	3 年生
	授業者	板津 俊樹 教諭	教 科	総合的な学習の試行
	校 種	(小)・中・高・特	単 元	
	ねらい	ネットワーク上のコンピュータから昔(30 年から 100 年ぐらい前)の道具や生活の様子がわかる画像が見られるように作成した html ファイルを呼び出し,閲覧することを通して,昔の道具や生活についての感想や疑問を持つことができる。		
授 業 の 流 れ	(事前準備) ・宮川村村誌から以前使われていた民具や生活や写真をいくつか集めスキャナでデジタルデータ化する。その画像データを用い,web ブラウザで閲覧できるように html ファイルにして,コンピュータ室の教師用 PC の HDD に共有ファイルとして保存しておく。 1, 児童が各端末を用いて PC 室の教師用 PC のファイルにアクセスする。 (この操作法は,プラズマディスプレイを用い,演示する。) 2, 画面の画像(1 学期に見学に行った村の考古館)は,どこか想起する。 3, 画像データを各児童が各端末を用いて閲覧する。 4, 画像を見て思ったことをワークシートに書き込む。 5, 感想交流。 6, 次の時間は各自が「昔のどんなことについて調べてみたいか」を決めることを伝える。			
	 (初期画面)			
考 察	○ 9 枚の画像を児童が自分の思うように見ることができる方法なので自分のペースで,また興味関心に応じて画像を見ることができていた。自分の面前でじっくりと画像を見ることができて効果的である。 ○ コンピュータの生かし方として,操作を機械的に学習するのではなく,授業の中に必然性を持たせているところがよかった。 ● 画像を見た感想を児童が PC 画面上に入力して,互いに見合えるようなシステムを作るとより便利で即時性が出てくると思われる。			



(初期画面)

IT 活用が分かるように記述願います。